

〈午前 11 時 05 分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8 番 渡辺栄一君登壇〕

○8 番（渡辺栄一君）

おはようございます。渡辺栄一でございます。よろしくお願いたします。

まず最初に、島道地区で雪崩に巻き込まれ、尊い命が絶たれました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告書に基づき、1 回目の質問を行います。

1、大糸線（糸魚川駅から南小谷駅間）の存続について。

今月 3 日に西日本旅客鉄道株式会社より、当市と長野県松本市を結ぶ大糸線の糸魚川駅から南小谷駅間の沿線活性化や路線存続に向けた取組についての協議を始めると発表があり、全国のニュースでも取り上げられ、注目を集めている。全国のローカル線が共通の課題を抱えており、単純に赤字を理由にした廃線を認めるならば、国内の多くのローカル線は早晩廃線の運命をたどることになるが、必ずしもそうした傾向にはなく、各地で様々な工夫をして、維持され、地域の交通や観光に貢献を続けている。本線もぜひ踏みとどまってほしいと希望し、現状と対策を伺う。

- (1) 会社側からの提案の概要はどうなっているか。
- (2) これまでも様々な対策を打ってきたと思うが、その成果と問題点は何か。
- (3) バス路線への転換は、結局地域の衰退を招き、観光客も減り、じり貧となると予想されるが、市の考えはいかがか。
- (4) 大糸線応援隊の現状について、隊員数の推移、とりわけここ半年くらいの加入数は何名か。
- (5) 日々の業務の中で、市職員の利用も図れるのではないかと思うが、考えはあるか。
- (6) コロナ禍で需要が落ち込む中での提案はフェアではないと考えるが、市はこの点で反論する考えはあるか。
- (7) 南小谷駅と糸魚川駅間の乗り降りが少なく、乗客のほとんどが観光客である現状があるが、新幹線や日本海ひすいラインとの連絡もあり、観光客中心の需要であっても、客数を増やし、持ちこたえる方策を考えるべきだと思うが、どう考えるか。
- (8) 一方で会社としては、収益を考えるのは当然であり、一層の連携で集客を図る対策を、市民からのアイデアも集めて企画してほしいと要望するが、どのように考えているか。

2、コロナ禍での市内各イベントについて。

2年越しのコロナ禍で、当初は様々なイベントの中止があったが、感染を防ぎながら、経済を回す方向に転換が進んできている。本市でも何でも大事を取って中止するばかりではなく、観光施策も考慮し、やり方を変えながら実施できるものは、行っていくことが望ましいと思われるが、市はどう考えるか伺う。

- (1) 市内及び県内の現在の感染状況と今後の見通しをどう考えるか。また、希望する3回目のワクチン接種は最終的にいつ頃までに終了可能か。
- (2) コロナ禍でのイベント中止による経済損失額はどのくらいか。
- (3) 年末年始から現在まで、中止した市の行事と、決行した行事について伺う。
- (4) 市立小中学校の運動会や修学旅行の実施状況や変更した点は何か。
- (5) 春から夏にかけての行事の見通しをどう考えるか。

3、糸魚川市が取り組む雇用を生む企業誘致等や看護学校設立に向けた動向について。

去る1月14日、市議会臨時会での米田市長の行政報告及び広報いといがわ2月号（No. 203号）での首都圏の某IT企業が進出する旨の掲載記事について、また、令和4年度重点施策に掲げている地域経済、地域医療について伺う。

- (1) 当市にとって某IT企業の進出は成功例となるのか、また、どのくらいの雇用規模になるのか。
- (2) 第3次糸魚川市総合計画で、商工業の振興の項目に、市内3か所の産業団地等への企業誘致活動を展開するとあるが、目星はついているのか。
- (3) 水資源を活用した小水力発電事業の誘致と自治体新電力会社設立に向けた取組とあるが、実現の可能性はあるのか。
- (4) 看護師確保に向けた取組の中で、看護師養成所もしくは看護学校のサテライトキャンパス誘致に向けた取組とあるが、ターゲット校が見つかっているのか。
- (5) 糸魚川市公式通販サイト「いといがわ逸品市場」を開設したが、何社くらいの事業者で何品くらい出品しているのか。また、手応えはあるか。

4、糸魚川市健康づくりセンターにおける屋内プール増築実施設計業務委託の入札について。

平成29年9月、当市健康づくりセンターの屋内プール増築設計業務委託の入札において、新たに疑いがかけられているが、この件について伺う。

- (1) 本件の建築物の類型が、第三号の第2類（屋内プール）であるべきところを第1類（体育館）で積算してしまい、誤って算出したものと理解しているが、間違いはないか。
- (2) なぜ、誤ってしまったものが落札したのか。原因がどこにあるのか、言い訳的にいわれるヒューマンエラーで済まされるのか。
- (3) 落札すべき事業者に対して、何らかの補償等を考えているのか。
- (4) 担当した元市職員には確認ができないと聞いているが、このまま放置しておくのか、法的手段はないのか。
- (5) 糸魚川市は、被害者なのか、加害者なのか。
- (6) 瑕疵ある行政行為に対して不服申立て等があった場合、どうするのか。
- (7) 入札関係の検算は誰が行ったのか。その職員へのペナルティーは考えていないのか。公僕である公務員としての自覚があるのか。

(8) 本件で市民の皆様説明会を設ける考えはあるか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、活性化の取組と併せ、沿線地域の振興や未来に資する持続可能な路線として、地域と検討を進めていきたいというものであります。

2点目につきましては、JRが加わる大糸線活性化協議会を設立し、JRと一体となって取り組めたことは成果と捉えておりますが、コロナ禍により、計画した活動ができない状況が続いております。

3点目につきましては、大糸線や沿線地域の活性化に向けた活動を行っているところであります。

4点目につきましては、令和2年12月から募集を開始し、2月現在の隊員数は、約1,600人であり、ここ半年間の加入者は、約1,200人となっております。

5点目につきましては、職員の利用に努めてまいります。

6点目につきましては、持続可能な路線としての必要との認識に立ったものであり、今後、幅広い議論を行ってまいります。

7点目につきましては、大糸線活性化協議会において、観光利用の強化を軸とした利用促進事業に取り組んでおります。

8点目につきましては、沿線地域との意見交換会や大糸線応援隊員からのご意見を参考としてまいります。

2番目の1点目につきましては、感染拡大状況は、まだ継続すると見込まれます。また、3回目のワクチン接種終了は、6月末を予定いたしております。

2点目につきましては、イベントには様々な形態があることから、一律に経済損失額を求めることは困難であります。

3点目につきましては、成人式や地域医療フォーラム等は中止しておりますが、感染防止対策を徹底し、実施した事業もあります。

4点目につきましては、運動会・体育祭は人数を制限したり、種目を工夫したりして実施いたしております。

修学旅行につきましては、小学校では、感染対策を徹底しながら県内で行い、中学校は、3月初めの予定を延期いたしました。

5点目につきましては、今後の感染症の状況に応じて、判断されるものと考えております。

3番目の1点目につきましては、県も大変注視しており、市としても成功例にしたいと考えております。

また、雇用規模については、スタート時では15人、5年後には50人程度を計画しているとお聞きいたしております。

2点目につきましては、具体的な企業を想定しているものではありません。

3点目につきましては、複数の事業者が中小水力発電の現地調査や事業化に向けて取り組んでおります。

自治体新電力会社設立につきましては、新年度、可能性調査を実施してまいります。

4点目につきましては、実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

5点目につきましては、現在20社47品目が掲載されておりますが、出店者と消費者双方に向けたPRが必要と考えております。

4番目の1点目につきましては、ご質問のとおり積算を誤ったものであります。

2点目につきましては、現状ではこれ以上確認できない状況であります。積算誤りを起こさないよう、点検の強化に努めてまいります。

3点目につきましては、現時点では考えておりません。

4点目につきましては、現状ではこれ以上の確認は難しい状況であります。新たな状況が出てくれば、改めて調査を進めてまいります。

5点目につきましては、入札に参加された皆様にご迷惑をおかけしたものと考えております。

6点目につきましては、申立て等があった場合には、内容を精査の上、真摯に対応してまいります。

7点目につきましては、同じ課の技師が検算しておりますが、処分については考えておりません。

8点目につきましては、現時点では考えておりません。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

では、2回目の質問に入らせていただきます。

1番目の質問についてでありますけれども、（1）の件ですけれども、当沿線が廃線という既定路線になっているということはないのでしょうか。

また、この討論会の初会合は、来月のいつ行う予定なのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

市長答弁のとおりでございます。JR西日本のほうから、コロナ禍において厳しい経営状況にあるので、まず、持続可能な公共交通ということを目指して、オープンな形で議論をもらいたいという提案があったものでございまして、当然私どもは、最初から廃線ですとか代替えとか、そういうことをテーマに一丁目一番地に持ってくるようであれば、そういう議論には乗るものではないので、持続というところで議論をしたいということを考えております。

ただ、報道に当たりましては、ああいうような報道がされておるといのは、少し誠に私どもと

しては、ショックな事件でございました。

初会合に関しまして、当初3月というふうな話もしておりましたが、JRの発表として廃線を視野にとかそういう報道がなされました。その辺について、そういう部分がどうなったかというのをJRのほうからちゃんと理解を求めて、今度の会議に加わるメンバーのほうの同意が得られた時期に初会合を開催するというような予定にしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今のお話ですと、本当に持続可能なということで、そういうことでマスコミ等でのそういった過激な廃線というような、そういうものではないということ、ということで理解してよろしいと。

それと初会合に関しては、来月、3月にやるということはじゃなくて、またちょっと延期というような、そういうことで理解してよろしいのでしょうか。3月中にやるということは、間違いないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

会社には会社の考え方があると思いますが、私ども沿線、松本市から糸魚川市までの、この大糸線沿線の自治体ですとか商工関係、観光団体、このようなメンバーは、大糸線の持続というところを今、テーブルの議論の上に乗せようとしておるところです。

初会合、最初に、まず3月の開催を目指しましょうというお話で動いておりました。JRの発表もそうかと思いますが、先ほどの繰り返しになりますが、少し報道のところ、JRのほうから言った言わんのような議論がございます。私ども、そこに対しても不信感みたいなものを感じておりますので、その不信感が払拭されてからの初会合の開催ということで、今、何が何でも3月というところではなくて、今ボールをJRに投げているというような状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうですね。やっぱりちょっと突っぱねてもらいたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

2番、（2）に関してですけれども、当初、効果があった施策と、そうでなかったものというものを精査して、有効な施策を評価する必要があるかと思っておりますけれども、この点、今現在の段階で、評価されているものというのは、整理はできておるものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

活性化協議会が設立されて以降の取組ということで、最初のほうは、金沢駅とか大阪駅の観光PRを沿線とタグを組んでというふうにやってきましたが、その後の令和元年の台風19号から、もうコロナ禍というところにどんどん、どんどん移って行って、私どもが計画した事業が、なかなか取り組めていないというような実情がございます。

その中で、そういうときだからこそということで、大糸線応援隊というものを、ご質問にもありました、そういうものを組織いたしまして、実の活動ができないのであれば、ネット上でのそういうロコミの広がりとか、そういう部分の今活動をしておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひそういった、コロナ禍ではありますけれども、ちょっと取り組んでいただきたいと思います。

（3）でございますけれども、これは仮に、バス路線になった場合、これは大変危険な変更だというふうに思います。ますます需要が減って、今後は、今度はバスの路線も存廃の議論が起きるというふうに思っておりますけれども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

先ほどの繰り返しになりますが、まずは持続可能というところが一丁目一番地です。仮にとか、想定で話なんです、これバス路線で転換された先例というのはございます。その中でも、1年たたないうちに、もうバス自体の廃止論が出てきて、1年後に廃止となったような先行事例といえますか、そういうのがございますので、そういう状況というのは、私ども注視しながら調査、情報として私どもは入れた中で、今後の議論に臨んでいきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

バスのほうも、やっぱりちょっとそういったことも考えていращやるということなんで、大変ありがたく思います。

(4) ですけども、応援隊の方、ここなんか1,600人というようなことを今言われて、この半年間に関しては、1,200人ということでかなり増えたなというふうに思っておるんです。応援隊の方々には、何か割引など、優遇措置だとか、何か強化するなんかして、1回2回と足を運んでもらうような、そういった工夫というのは考えてはいかがかとは思いますが、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えさせていただきますが、前段でのお答えのバスの話は、一切バスという話はいたしておりません。我々は、そういったものを一切話す場も、そういった固有名詞も上がったことございません。あくまでも大糸線の活性化についての協議をしておる状況でございます。そういったことは一切ないということをご理解いただきたいと思います。

今のご質問については、また課長のほうから答弁いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

前段、曖昧な答弁をいたしまして、大変申し訳ございませんでした。

大糸線応援隊につきましては、令和2年12月から募集を始めまして、昨年末までに500名に達していなかったのが、年明けぐらいから、えちごトキめき鉄道の社長に発信したりしていただいたりして、一気に3倍以上、1,600人を超える応援隊が募集されております。

彼らには、大糸線の今後の利活用について、活性化についてということで意見を求めています。なかなか私どもでは思いつけないような視点というのがありますので、そういうことに関しまして、例えば彼らの意見を取り入れて、実際そういうところに乗りに来ていただくとか、ロコミを広げていただくというような、そういう展開を考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そこはよろしく願いいたします。

(5) でございます。先ほど市長の答弁にもあるように、市の職員の利用も図れるんじゃないかということで考えているというような、そういったような内容だったと思うんですけども、働き方改革ではありませんけれども、本当に業務の中でやはり利用できることは、やっぱり積極的にやっていただきたいし、直行直帰とか、一々役所へ来なくても、直接行きますよとか、今日はもう仕事終わりましたんで、もう帰りますよということで、上司の方に報告するなり、翌日、そういったことがあったか報告すれば、もうそれで済むようなことも考えられますので、そういった直行直帰も

含めて、大糸線を利用できるものは使って盛り返したいというふうに思いますけど、そこら辺は、再度いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

今ほど大糸線という話ですけども、えちごトキめき鉄道であったりバスであったり、公共交通機関については、職員が通勤等で利用できるものについては、利用を呼びかけてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

本当に、昨年て言ってたかね、ちょっと事故を、車で行って、事故を起こしたとか、そういったことも聞いているので、ぜひ電車利用というんでしょうかね、そういったことも使っていただきたいと思いますが、改めて、そこら辺をどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

公務での出張等については、原則として公共交通機関を使うというのが、原則としております。

ただ、時間等の関係で、やはり公用車を使ったほうが、使わざるを得ないという部分については、公用車の使用許可ということでやっております。どちらにいたしましても、公共交通機関を使える部分については、今後とも積極的に使ってまいりたいというふうに考えているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

よろしく願いいたします。

6番目、本当にこの時期に提案ということで、米田市長は、寝耳に水、遺憾というふうにコメントされているということなんですけど、これはもう当然のことだと私は思います。

国も地方公共交通の在り方に関する検討会を立ち上げて、7月を目途に方向性を出す聞いておりますけれども、そうなる今度、どうでしょうかね、まだちょっと方向性を出す予定というか、まだテーブルについてないというようなことなんですけども、いずれにしても、どうなんでしょう、やっぱり糸魚川市としては、こういった前向きに検討するものに関してはやるよということで、何ていうんでしょうかね、前向きなものであればやっていくというような、そういう捉え方でよろし

いんでしょうか。

〔「反問をお願いいたします」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

反問を認めます。

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

7月に方向性を出すというような、今お言葉がありました、そのようなことでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これは国のほうの検討会といいますか、国も地方交通の在り方に関する検討会を立ち上げて、7月を目途に方向性を出すというふうに私は聞いておるんですけども、これは新聞報道ですけれども、そういうこと。

○議長（松尾徹郎君）

反問を終了いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

国のほうでも、今、議員ご質問のプロジェクトを始めております。もう2月14日に内容非公開なのですが、1回目が開催されておりまして、ある程度、時間軸を持って結論を出していこうというような情報は聞いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

7番目、8番目に関することですが、糸魚川市内の沿線には、温泉や登山口もあって、振興の手がかりというのは残されています。もう一踏ん張りといいますか、していただきたいし、昨秋には、タモリさんの番組もありましたし、これにちなむ企画も考えてはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

沿線の市民の皆様からのご意見を聴くというのは、非常に大切なことだと思います。これまでも令和元年度と2年度に、大野駅から平岩駅までの沿線にお住まいの皆さんと懇談を開催しております。昨年度は市長のほうも、そこに加わっておりまして、お話を聴かせていただいております。やはり登山客がいっぱいいるので、鉄道利用と登山客をちゃんと結びつける方策をもうちょっと考えたほうがいいんじゃないかとか、駅舎の利活用という提案を頂いたりとかしております。逆に、少し最終便が早過ぎるとか、そういう苦言も多く頂いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

観光の観点からになります。おっしゃるように大糸線沿線には、様々な観光資源がございます。また、南小谷以南につきましては、白馬バレーですとか、松本、さらには関東・中京圏域にもつながっております。また、北陸新幹線につきましても、今後、敦賀、また関西方面にも延線が予定されておりますので、使い勝手のよい鉄道、列車が運行されれば、一定数の観光客が利用されるものというふうに考えております。

しかしながら、南小谷を境に鉄道会社が変わっておりますので、乗換えが必要であったり、接続が非常によくなかったりということで、必ずしも観光客にとって使いやすい路線になっていない現状があるというふうに思います。

このことを踏まえまして、今後、自家用車では味わえない鉄道を生かした旅というのを提案していく必要があるのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

おっしゃるとおりだと思います。本当に乗ってみると分かるんですけども、よくぞこういった場所に鉄道を敷いた、あと、あるいは鉄橋だとか、トンネルを通過するたびにそう思うわけで、この線は本当に鉄道技術の貴重な遺産でもあるというふうに思いますけど、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

施設自体は、大分昔にできたものですが、今おっしゃった施設、駅舎もいい雰囲気を出してるものがたくさんございますし、また、車窓に関しても、冬、秋、春、夏、いずれも変わった姿、道路からは見えないところも通ったりしておりますので、そういうところも今観光の視点で、観光課のほうとはタグを組んで商品化につなげていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

よろしく申し上げます。

（8）ですけれども、先ほどからも存続に向けてというようなことが言われております。本当に大糸線の存続に向けて、沿線住民や、あるいは市民団体の参加だとか、あるいは利用者の声を生かして、持続可能な路線で便利性をより一層高めてほしいと思っております。そういったことでよろしいというふうに考えてよろしいですね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

おっしゃるとおりでございます。大糸線の存続に向けましては、松本から糸魚川の沿線市、あと関係団体、あと新潟、長野の両県、国のプロジェクトということもございますので、地方の公共交通の維持という面では、逆にJRのほうとも一緒になって、国に対する働きかけ、そういうことも踏まえた今後の活動をしていかなければならないというふうに、私どもは考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

国鉄時代の最後の駅だと言われている姫川が、もっと利用されてたらなんて思ったりもしたり、あるいは私も大糸線では、ちょっと埼玉のほうには帰れなかったんですけども、大糸線は首都圏にも行ける路線であると同時に、また緊急時においても物資の輸送に役立つと考えております。存続に向けて、国・県、その他あらゆる関係機関に働きかけを早急をお願いいたします。

2番目の質問についてであります。

（1）番に関してですけれども、ちょっと最近、小学校の児童がちょっと多くなっているというふうに思っておりますけれども、某テレビ番組でも、学校が一番安全なんだというような、そんなようなことを言った記憶があるんですけども、ただ、やっぱりつまるどころ、家庭内感染が多いということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今年に入りまして、2か月経過しとるわけですが、既に250件程度の感染者の確認がされております。県の詳細については、市のほうに連絡がないもんですから、なかなか説明は難しいんです

が、10歳代、それから10歳未満の方々の感染の拡大がかなり多いという状況が、糸魚川市ばかりでなくて、県内全体ではそんな状況だということでもあります。それに伴って、保育園だとか小学校等でクラスターが発生したというのは、既にご案内のとおりであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

5歳から11歳向けのワクチンの対象者が約1,900人ぐらいで、供給予定は3月までに800回分というふうに聞いておりますけれども、今のところ変更はないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

現段階では、変更はございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

例えば連絡といいますか、通知が来れば順次やっていくという、接種していくというようなそういう流れでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

3月中旬ぐらいに皆様に接種券をお送りしまして、接種に向けた取組を進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（2）番でございますけど、イベント中止による経済損出額はどのぐらいかということで、算出がちょっと困難だということなんですけども、やっぱり全然全く予想つかないというんでしょうか、そういったものでしょうか。それとも大体およそこのぐらいだろうというような、そういった目安みたいなのが分かると、本当に分かりやすいんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市長の答弁にもありましたように、そのイベント自体も参加者が市民対象のイベントなのか、県外からおいでになるかとかによって、いろいろ違いますので一概には言えませんが、例えば例を挙げてお話ししますと、あんこう祭りにつきましては、令和元年度、コロナ前ですと3会場で、合わせて2,500杯のアンコウ汁を500円で販売しております。これについては、売上げが125万円ということになります。

また、入込み数が1万6,500人ということですので、仮に1人1,000円を消費した場合につきましては、1,650万円になりますので、合わせて1,750万円が直接効果としての損失になります。これに間接効果、波及効果を合わせますと、相当の金額になるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなかちょっと出せというのは、酷な話だったかもしれませんが、ありがとうございました。

この2番に関しては、状況を見ながら、やり方を変えながら実施できるものは実行していくということよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

当課におきましても、各団体のイベントに対しての補助金も支出しておりますし、市としてもイベントを行っておりますが、コロナ禍でなかなか思うようにできないのが現状でございます。市といたしましても、できるだけ何といたしますか、イベントを実施したいという気持ちでありますが、今後の感染拡大状況を見極めた上での判断となってまいりますので、また少しでも感染状況が落ち着いてきて、重点措置等が緩和されたり、措置が終わるようであれば、タイミングを見計らって、引き続き経済対策を再開していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

3番目の質問に入らせていただきます。

IT企業が来たということで、先ほど市長の答弁もありましたように、今は15人ぐらいだけでも、5年後には50人ぐらいになるだろうというような、そういったことであります。本当にIT企業が来たということは、本当に自信を持っていいというふうに思います。それで雇用も生まれて、何か何かで糸魚川に少しでも恩恵があるんだろうというふうに思います。

最初聞いた勤怠管理システムというのは、これは糸魚川市で導入して、現在しているというふう
に捉えてよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

このたび進出されたDONUTS社の勤怠管理システムであります。これは糸魚川市内という
ことじゃなくて、全国の企業が導入されているシステムのカスタマーサポートを糸魚川のオフィス
で行うということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

全然、糸魚川市が入れたというんじゃなくて、全国の企業のカスタマーというんでしょうか、カ
スタマーサポート、問合せというようなことを請け負っているというふうなことだということなん
ですね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

この企業につきましては、全国でいろんな事業を展開している会社でありまして、今の勤怠管理
システムですとかゲームの事業ですとか、ライブ配信等いろいろありますが、今この糸魚川のオフ
イスにつきましては、このジョブカンというクラウド型の勤怠管理システムのサポート業務を担当
するということでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

2番目の質問ですけれども、この市内の3か所の産業団地というのは、これは青海の地域産業団
地だとか、姫川の産業団地、あと能生地域の産業団地の3か所だと私は認識しておるんですけども、
これいつ頃から整備されて、今、分譲用地がどのぐらいそれぞれ余っておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ちょっといつ頃から整備という時期につきましては、今資料を持ち合わせておりませんが、面積
につきましては、姫川産業団地につきましては、全部で約42ヘクタール、そのうち分譲が23ヘ
クタールされておりますので、残りが約19ヘクタールとなっております。あと能生につきまして

は、全体で約5.7ヘクタール、青海につきましても全体で約5.7ヘクタールということで、それぞれ半分程度が分譲されている状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

まだあと半分ぐらいは残っていて、まだちょっと空き地というとな変な言い方ですけども、まだ空いてるよという状態なんです。どうなんでしょうか、そこら辺まだまだ開拓の余地というんでしょうか、まだ全国から呼び寄せるといっていいんでしょうか。そういったアナウンスというんでしょうか、営業活動というんでしょうか、そういったことはされておるといふふうに理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

企業の進出等の状況につきましては、当市も情報収集に努めておりますが、新潟県の東京事務所を通じて、いろんな企業からのお問合せがございます。その段階で、この土地に合うのかどうかということを総合的に判断されまして、企業の皆さんが判断されるわけでありまして、市としましても必要な情報を提供したり、あといろんな補助制度を提供したりということで、企業誘致に努めておりますが、今後とも、非常に厳しい状況ではありますが、引き続き企業誘致にも努めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

何か例えばこの地区で障壁になってるといっていいんでしょうか、そういったものはあるんでしょうか。それとほかに産業団地等の用意というんでしょうか、ほかにも用意されておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

具体的には、個々の事業者が判断されるものというふうに考えておりますが、一般的には土地の単価であったり、あと冬期間の雪の問題であったり、その企業によって様々な課題として捉えられることがあろうかと思いますが、当市としては、今現状のものをご提示して、それにお答えいただける内容でしたら、ぜひ進出いただきたいということで取り組んでおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひやっぱり働き場というんでしょうか、そういったものがないとなかなかこの町は衰退していくばっかなもんですから、ぜひ一度、この団地というんでしょうか、産業団地にぜひ力を入れていただきたいと、引き続きお願いしたいと思います。

次に、水資源の活用したこの事業ということですが、こないだ私も、ちょっと勉強会に参加させていただきまして、平成26年に調査した段階では、3か所ぐらいが有望であったというふうに聞きました。今回、またこの場所以外で調査するんでしょうか、そこら辺を確認したいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

現在、計画しておりますのは、自治体新電力会社の設立に対して、その可能性調査を実施していきたいということでございます。

したがいまして、今の水力発電等々につきましても、もう今は民間事業者等々が参入をということで、個々に動いているというような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

売電価格が、こないだちょっと出た売電価格は34円というようなことが載っていたんですけども、仮にこの売電価格が下がった場合、11年目で利益が出るというような、そういったことは、どういうふうになるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

議員の今言われているのが、FIT価格のことかと思います。その価格につきましては、基本的には20年間、水力の場合であれば20年間ということでもありますけども、現行制度の中では、20年間担保されるというものであります。

基本的には、事業を実施しようとしたときに、そういった収益性であったり、投資費用対効果を企業のほうでしっかりと積算をして、進めていくということになりますので、そういったところで慎重な進め方が必要だということでは、私らのほうも事業者とは話をしているというところでございます。

○議長（松尾徹郎君）

質問の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。再開を1時といたします。

〈午後0時00分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

時間も迫っておりますので、手短に行きます。

（4）番目です。これ廃校になったサテライトキャンパスというようなことで、初めて出てきた言葉だと思うんですけど、これだと廃校になった校舎、例えばそういったものも転用できるというふうに考えてよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

利用は可能だというふうに理解しております。

ただ、具体的には、まだ進んでおらないということであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これはもっと早くやったほうが、私は絶対いいと思います。本当に新幹線もあるということで、全国からやっぱり学生呼び寄せるといった利点もありますので、これは早くやったほうがいいと思いますけど、改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

これまでも県立でありますとか、厚生連の看護学校の誘致ができないか。あるいはサテライトキャンパスはどうかというようなことで、検討を重ねてきておりますが、先ほど言いましたように、まだ実現には至っておりません。そう簡単に実現できるものではないというふうに理解しておりますけれども、引き続き諦めることなく、関係団体と協議したり要望したりしながら、実現に向けて取り組みたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これ3次の糸魚川市総合計画にも入ってますので、ぜひお願いいたします。

（5）番目ですけれども、それともう一つ、すみません。これ例えば本当に10年後、医師とか看護師が不足して、環境が悪くなった場合でも、どうなんでしょうか、そういった今言われたいろいろ周辺の病院だとか組んで、やっていくというようなことで、方針は変わらないということで理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

将来、医師だとか看護師等の医療人材の不足というのは、大変懸念されます。それに向けましては、医師あるいは看護師の人材確保には努めていきたいと思っております。

この看護学校の誘致というのは、実現できればその大きな起爆剤になるんだろうなというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

5番目でありますけれども、これは本当に通販ということもあって、クローズなマーケットであるため、やっぱりプロモーションだとか画面の見せ方というのは大切になると思います。今20%割引セールは3月末で終了となっておりますけれども、今後は、まだ続ける予定はあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ECサイトにつきましては、このコロナ禍で売上げが低迷いたしております市内の小売事業者で

すとか生産者等に対しまして、販路の拡大を支援したいということで行っているものでありまして、今後とも外貨の獲得も含めまして、なるべく多くの事業者からご参加いただきまして、より魅力のあるサイトにして、多くの皆さんから買っていただけるように努めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どれも糸魚川市の未来に関わることでございます。しっかり取り組んでほしいと思います。

4番目について、質問させていただきます。

(1)、(2)とも関連があるんですけども、例えば素人である渡辺栄一が担当であって、間違えるということはあるかもしれませんが、今回の場合はベテランの行政マンというふうに理解しておるんですけども、本当にこれ単純に誤りやすいものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

まず、誤りやすいかどうかというのは、ちょっと私のほうでは今、具体的には申し上げられないんですが、一般的にミスということでは考えますと、ミスをしない人間はいないと私は考えております。ミスをどうすれば防げるかということで、知識不足によるミスでありましたら、人材マネジメントといいますか、研修等を重ね、知識を広げる。また、構造的なもののミスということになりますと、組織的にチェック体制のほうを整備するとか、そういった形で対応のほうをしなければいけないと認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうですね。やっぱり今の説明だと、なかなか納得しにくいところはあると思うんですけど、やっぱり実際、屋内プールだということは明らかなのに、体育館でやるということは非常に不自然だと私は思うんですけども、そこら辺、再度いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

間違えたかどうかということで、結果といいますか事実は間違えておりますので、そのところは間違いなんですけども、それに至った経過というのは、今ちょっと現在段階では確認できないと

いう状況にあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうですね、何かちょっとあんまりはっきりしない答弁だと思います。

本当にこの3番目になるんですけども、入札に参加された事業者さん、本当にそれに費やした時間だとかそういったものに関しては、申し訳ないというんですか、そういったようなこと、事業者さんに対しては申し訳ないというような、そういったことはないのでしょうか。

それと、今後こういったようなことが度々あると、本当に入札に参加された事業者さんに不信感を持たれるようなことというのはないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

積算誤りににつきましては、大変参加された方には申し訳ないという気持ちでいっぱいでございます。

今後こういったことが続くと不信感があるんでないかというのは、おっしゃるとおりだと思いますので、そちらのほうを防ぐ、ミス防止について、体制を整えまして、対応してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

(4)でございますけども、本当に元職員には確認ができないというような、難しいというようなことをおっしゃってましたけれども、糸魚川市も顧問弁護士もいるということで、そういった弁護士さんにも相談したり、もし必要なら、ほかの違う弁護士さんにも相談したほうが、力のある弁護士さんというんでしょうかね、そういった方にも相談したほうがいいんじゃないかと思うんですが、そこら辺、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

今時点で確認できているという部分は、積算に誤りがあったという部分だけでございます。それが法的にどうかという部分については、なかなか難しい部分もあるかと思っております。

それで、設計者本人にどういう原因で誤ったのかということで、市のほうから問合せをさせていただきましたが、お答えいただけない状況ということで、現段階では、市のほうとしては、これ以上確認するのが難しいというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうなると今度、糸魚川市民としては、本当に元職員が後ろ足で砂をかけていってしまったと。そういった職員であるという認識でよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

先ほどから申し上げたように、積算のミスは、その職員の設計であったという部分だということろまでだというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっと何かそんなような言われてしまうと、何かどうもすり替えられてるような感じで、大変ちょっと変な答弁だなというふうには思います。

これ6番目になるんですけども、瑕疵というのは、重大かつ明白である場合、無効になるというふうに考えるんですけど、本件はそれに当たらないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

瑕疵といいますか積算誤りということには間違いなんですけど、入札時点では、それが正しいものだということで入札を行っておりますし、応札していただいた方も、そちらほうでご納得いただいて、契約を行っていただいたと認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

例えば取消しの訴訟などを起こされて、それが取り消されない限りは、一応有効というような取扱いということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

現在段階では、そのように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（7）に移ります。地方公務員法の第32条には、職員は、その職務を遂行するに当たって、法令・条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規定に従い、かつ上司の職務上の命令に忠実に従わなければならないとありますが、この法律に抵触しないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

点検した職員についても、点検した職員の確認の中で点検したというふうに思っております。そういう中で設計者自体が積算誤りをして、点検者自体そのミスに気がつかなかったという部分では、そういう部分はあるかというふうには考えておりますけども、その職員なりに、その設計書に対して、ミスというか違算等がないかというふうに取り組んでまいったものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

市長は、この件にはどのように考えておりますでしょうか。もうちょっと私は、市長はもっと怒ったほうが、私はいんじゃないかと思うんですよね。人事権というのは、誰が持っているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

人事権については、市長が持っているものというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

米田市長、やっぱり大なたを振るったほうがいいんじゃないかと私は思いますけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ほど部長、課長がお答えいたしたように、やはり私は、人間というのは、やっぱりミスというのはあると思っております。そういう中で今皆さんがご指摘した点、そしてまた、我々がお答えした点については、やはり現状の中で判断する最大のところに、私はあると思っておりまして、それ以上のことになってくると、やはりなかなか難しい、法廷なんか持ち込めるかどうかというのは、非常に私は難しいという判断でおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

普通の民間企業であれば、そういったたどたどしいことはしていないで、即、出勤停止だとか、何かお給料のほうを下げられるとか、そういったペナルティーは民間の場合はあるんですけども、市役所のほうは、そういったものはないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

そのような職員の不祥事なりミスなりに対しては、糸魚川市の懲戒処分等の指針に基づいて、それぞれ処分をするということでございます。

今回の件に関しては、少なくとも設計した本人が、設計した元職員が一番重大な責任を持っているというふうに思っております。それで、積算をチェックした職員については、そこまでの重大な責任、当然、チェックするという任務を果たせなかったという部分があるんですけども、そういう意味では、元職員よりも、比べると責任は少ないというふうに思っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私は、そうはやっぱり思わないですね。もちろんそこでミスが分かれば、そういったことで判断分かるわけでございますので、やっぱりそこは全然その人が一番あれというのは、それは分かりまんですけども、やっぱり検算した人が、それを見抜けないというか、極端な話、適当に判を押してたんじゃないかというふうに思われるんですけど、そこら辺いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

調査という項目がちゃんとございますので、設計したものと別の者が調査するその機能が働いて

いなかったということは、あるかと思えます。

ただ、今回の誤りについて担当のほうに聞いてみました。表計算ソフトを使って、そこに累計とかの条件を入れると、数量的な部分が、もう表計算ソフトで出てきて、その出てきた数値を積算に使ったということで、表計算ソフトの結果までを今度電卓でたたいてなかったというところの、少し盲点といいますか、表計算ソフトの結果をそのまま信じて、条件だけを確認したという部分がございます。

今後、来年度以降、来年度に、今度、業務委託に関しましても工事同様に積算システムというものを導入いたしまして、そういう少し構造的な部分について、改善が図られるのと同時に、今後のチェック体制については、誰がチェックしても同じ数字に保てるような検討を加えてまいりたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

副市長は、何かほかに付け加えるようなことはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

確認した職員が見つけれなかったということで、意図的にといいますか、そこが見つかることが本当にできなかったのか、あるいはそこまで能力が足りなかったのか、そういった背景がいろいろあるかと思えます。そういった中で、必要な場合は、やっぱり処分ということになるかと思えますけども、現時点では、そこまでの処分をする考えはないということで申し上げました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

以上で終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

〈午後1時22分 休憩〉

〈午後1時23分 開議〉